



生活クラブ風車



夢風News

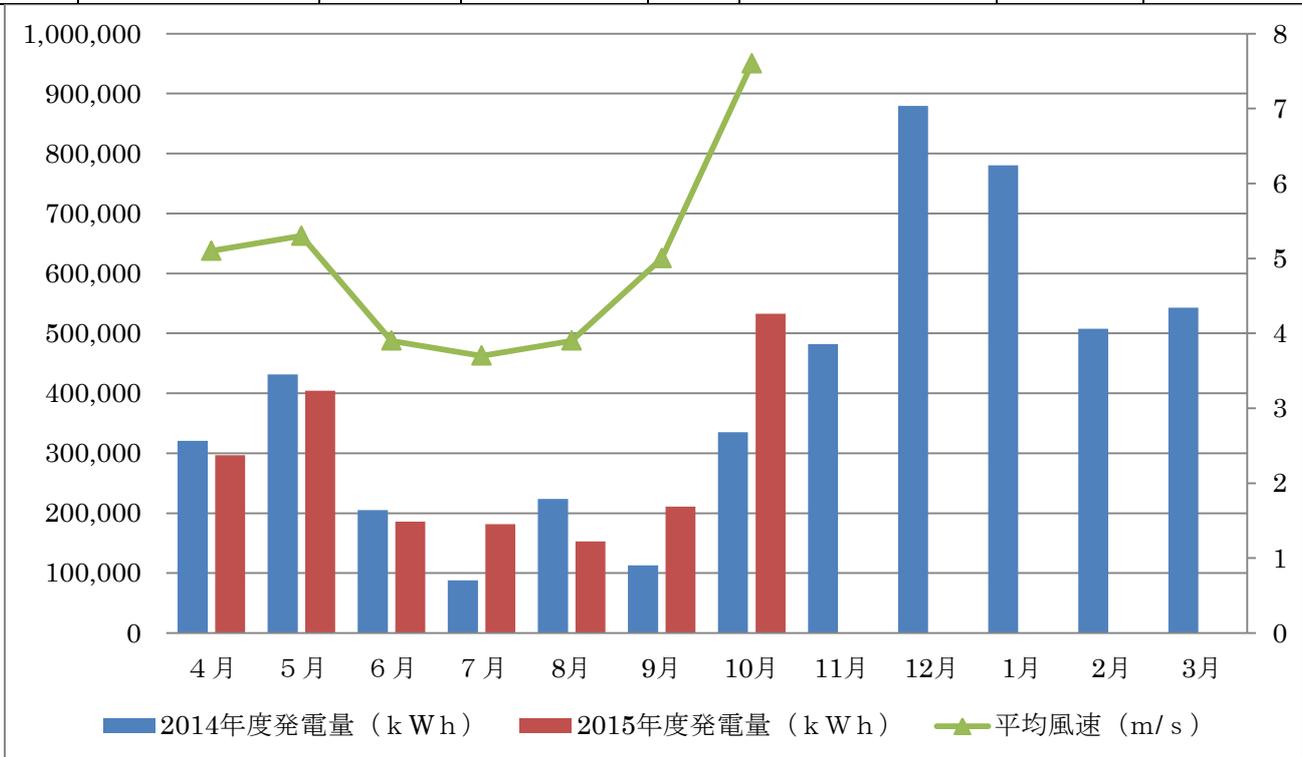
Vol.41

●発行 2015. 11. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2015年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	296,695【92.6%】	5.1	20.7	10月	532,473【158.8%】	7.6	36.0
5月	404,165【93.7%】	5.3	27.3	11月			
6月	185,870【90.7%】	3.9	13.0	12月			
7月	181,669【206.7%】	3.7	12.3	1月			
8月	153,120【68.4%】	3.9	10.3	2月			
9月	210,921【187.2%】	5.0	14.7	3月			



- 10月は、好風況に恵まれ平均風速が昨年に比べ1.6m/sも高かったことから、発電量も約1.6倍と高くなりました。
- 10月初めに、風車より東北電力の送電線まで発電した電気を送るための電柱の立て替え工事を行いました。

■グリーンファンド秋田 2015年度第3回理事会報告

10月30日に第3回理事会を開催しました。

○2015年度の上半期決算は、発電量1,432.4MWhで前年比103.7%の実績となり、売電収入は前年比104%、計画比98.6%の実績となりました。首都圏4単協からの借入金の返済も問題なく行われ、安定した事業経営となっています。

○組合員リーダーツアー、デポーにかほフェアの開催及び決算報告を承認しました。また、夢風ブランド開発の進捗報告、普及啓発費の執行状況報告を承認しました。

○ブレード補修、電柱交換工事の実施報告を承認しました。

○マイナンバー法施行に伴う対応を承認しました。

○生活クラブ千葉、生活クラブ埼玉でのかほの産物の取組について報告し確認しました。

■東日本大震災復興支援まつりに参加しました



11月7日(土)、横浜の山下公園にて、生活クラブ神奈川主催の復興支援まつりが開催されました。3年目を迎える今年も「風化させることなく、励まし合いながら、復興していこう」「そして未来を切り拓いていこう」というかわらない想いを受け継ぎ、楽しみながら復興支援と原発のない社会づくりをすすめよう、との呼びかけに、おおぜいが賛同し参加しました。

当日は、好天に恵まれ、12,000人もの来場があり、組合員や市民が、東北・被災地の生産者による海の幸や、生活クラブや運動グループによる模擬店を味わい、楽しみながら、ふれ合い、感じ、共に考える事が出来ました。

当日の売上の一部は復興支援のカンパとなります。



秋田県にかほ市からは、写真の左から、道の駅ねむの丘の佐々木さん、にかほ市企画課の越川さん、観光課の荒川さんの3名で、にかほの特産品を中心に秋田の産物の販売とにかほ市のアピールを行いました。伊藤製麵所の生活クラブ国産小麦の象潟うどんの試食は好評でした。

グリーンファンド秋田は、生活クラブ風車「夢風」のパネル展示と、夢風カレンダーの販売を通じて、生活クラブとにかほ市との連携をアピールしました。

■ 芹田営農組合による加工用トマトの実験栽培報告

生活クラブ風車の建設地であるにかほ市芹田地区にて、地域間連携の一つとして農産品の取組みの実験として、今年度、加工用トマトの栽培に取り組みました。

（株）生活クラブスピリッツに栽培方法などのアドバイスを頂きながら5月10日に定植。8月1日の組合員リーダーツアーより収穫を始め、途中、台風による風の被害もありましたが、9月の中旬まで順調に出荷することが出来ました。出荷総量は約3トンとなり、目安とした収量を達成しました。

今年、収穫したものは全て、山形県の鈴木食品でトマトピューレーに加工した後、コーミ（株）に出荷し、生活クラブのトマトケチャップの原料となります。ピューレ状で少し寝かせて、来年には、にかほ産のトマトを使ったトマトケチャップが組合員に供給される予定です。



今後には、12月に総括を行い、夢風ブランド開發生産者連絡会や、にかほ市との連携推進協議会、自然エネルギー推進PJ会議で確認しすすめていきます。



風車 Q&A

Q：風車って、風が強いとグルングルンと速く回るの？

A：いいえ、風車は、風の強さに応じて、羽根の角度を自動的に変えられるようになっています。

風の弱い時は、羽根の角度を大きくとって風を多く受けるようにします。

風が強く、定格風速に達した時は羽根の角度を小さくして必要なだけの風を受けて余分な風は受け流してしまうようにしています。

ですから、風車は常にほぼ一定の回転速度を保っています。

ゆっくりとした回転を増速機（ギア）を使って回転数を高め、発電機を駆動して発電します。

夢風は風速4 m/s以上になると回り始め、1分間の回転数は15回転程度です。

風速が25m/sに達すると、羽根の角度を風とほぼ平行にして風を全て受け流して、回転を停止するようになっています。



●● 夢風ブランドものがたり ●●

<生活クラブ千葉>

鱈しょつつる「うわてん」のアピールを行いました

生活クラブ千葉では、にかほ市発の万能調味料・鱈しょつつる「うわてん」をテーマに、環境委員会を中心に活動を行っています。

5月に生産者の日南工業株式会社をお招きして鱈しょつつる学習会を実施した後、7月31日にはにかほ市内にある工場を訪問し、「うわてん」の仕込み状況や今後について日南工業㈱の代表取締役細谷広志さん、営業部服部進一さんからお話を伺いました。

訪問を踏まえ、生活クラブ千葉では、まず今現在の「うわてん」のアピールをしながら、一般の組合員に聞き取りを行うことにしました。

10/8～10/10 デポーでにかほ市の特産品を取り扱う「にかほフェア」の期間中に、環境委員を中心に組合員がフロアアピールを実施。千葉県では魚醤を利用する文化があまり一般的でないので、「うわてん」を使った試食を出しながらいくつかのレシピを紹介し、アピールしました。8月の組合員リーダーツアーで生産者からご提案いただいた、焼きうどんが特に好評でした。

試食した組合員への聞き取りの結果、「しょつつる」という言葉を聞いたことがある人は全体の8割近くいましたが、しょつつるを利用した料理を食べたことがあるという方は全体の約4割でした。

臭いについては、気になる方は1人もおらず、試食してくださった方のほとんどが試食品をおいしいと答えていました。

デポーのにかほフェアの後は、千葉単協独自で班・個別配送でのにかほの特産品フェアにも取り組んでいます。どんな工夫をしたら「うわてん」を利用しやすくなるのか、引き続き、試食やアンケート活動を展開し検討を進めたいと思います。

生活クラブ千葉 理事 船水香

【訂正】

前月の夢風ニュースの「千葉のデポーでは「環境政策委員」が」は、「環境委員」の誤りでした。訂正をお願いいたします。



デポーフェア/真砂デポーでのアピールの様子



うわてん焼うどん（1人前）

鱈しょつつる（うわてん）大さじ1/2・冷凍うどん1玉・豚肉50g・白菜1枚・きのこ（適宜）・にんにく少々・なたね油小さじ2・かつお細けづり（お好みで）・コショウ

- ①フライパンに油をひき、ニンニクを軽く炒める
- ②豚肉を入れさらに炒める
- ③きのこを加える
- ④軽く湯がいた冷凍うどん、白菜を入れ、うわてんを投入
- ⑤皿に盛りつけ鰹節をかけて完成